

事業所名

療育センターそらいろ

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2024 年

4 月

1 日

法人(事業所)理念		将来の「その人(子)らしい生活」の実現に向けて、子ども達の「発達」・「成長」を支援します。心身の状態を健康に保ち、様々な事を学びながら、将来の社会生活に見通しが持てるように、学習活動だけでなく、日常生活、余暇、健康などが充実していけるよう、「発達」・「成長」に必要なことを一緒に考え、トータルに支援します。							
支援方針		安心できる環境(緩やかに構造化された小集団、ある程度固定化されたプログラム)の中で、遊びや活動を通して「できた!」「楽しい!」という喜びを感じ、その喜びをご家族や周りの人と共有することで自信や意欲につながり、たくさん成功体験を積むことで楽しく充実した家庭・園生活が送れるよう支援します。							
営業時間		9 時	分	から	18 時	分	まで	送迎実施の有無	あり
		支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態や生活リズム等の把握をし、心身の安定した生活が送れるよう、必要な情報提供を行います。 トイレの声掛け、見守り、必要に応じて介助を行います。 身だしなみ等の支援を行います。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい遊びを通して、安心感や心地よさを体験します。また、様々な感覚刺激を体験することで、脳や身体の発達を促します。 滑り台、平均台、梯子のぼり、トランポリン、ボールプール、ハンモックなどを通して、粗大運動や様々な感覚(触覚、固有受容覚、前庭覚)、ボディーイメージの発達を促します。 粘土、型はめ、紐通しなどを通して、手先の巧緻性を養います。また、プリント課題(点つなぎ、形探し、迷路など)を通して、学習の前段階を経験するとともに、視認知機能の強化をはかります。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 状況や場面を理解し、状況に即した言動を提案します。 必要に応じて視覚的な提示を行い、状況の理解が深まるよう支援します。 タイマーや絵カードなどを用い、見通しをもって行動できるよう支援します。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた意思表示、言語表出を促し、「うまく伝えられた」経験が積めるよう支援します。 自分の思いが伝わった経験を積み、他者とのコミュニケーションに自信が持てるよう支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や絵カードを通して、状況理解や気持ちの理解を支援します。 表情カード等を用い、自分の気持ちを表出するとともに、他者の気持ちや多様な感じ方を知ることができるよう支援します。 友達や大人とのかかわりの中で、状況に応じたやりとりの経験を積めるよう支援します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談や悩みに対して一緒に考え、必要に応じて助言等を行います。 必要に応じて受診同行等を行います。 定期的に勉強会を開催していきます。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 支援会議・移行支援会議に参加し、園・学校と情報共有・情報提供を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 定期的に支援会議を行い、関係機関と情報共有・情報提供等の連携をはかります。 圏域の子ども連絡会に参加し、情報共有をはかります。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内でのケース検討を通して、特性理解や専門性の向上をはかります。 法人全体で、法定研修(虐待防止等)を行います。 外部研修等に参加し、専門性の向上をはかります。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた活動を行います。 							